

職員による自己評価

A環境面
情報を細かく伝えていない

B児童への支援内容
お子さまに寄り添った支援をしている

C関係機関との連携
直接が無理なら後からの連絡や紙で情報共有している

D保護者への説明責任・信頼関係
充分ではない

E非常対応
訪問先に従う

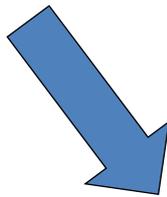
保護者による評価

A環境面
教具の使用について知らない

B児童への支援内容
理解し寄り添った支援がされている

C事業所からの情報発信
園との情報共有がどのくらいされているのか知らない

D非常対応
されているか知らない



事業所内での分析

【共通点】

- ・ お子様への理解、寄り添った支援が行われている

【相違点】

- ・ 個人情報への留意がされているか知らない

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・お子様への理解、適切な支援の提供

事業所の改善点

- ・個人情報への留意やプライバシーに配慮した面談室について知らないというお声があった。や
ってるつもりでも情報発信がされていないと感じた

事業所の改善への取り組み

・訪問支援の情報共有については、支援員と保護者、支援員と先生、支援員とお子さんというバラバラの形になっていることがあり、それをまとめることも重要。必要な情報が何かをこちらで判断するのではなく、お伝えした中で何が必要かを選んでいただくような情報の伝え方をして行くべきかもしれない。もちろんそれぞれとの信頼関係を崩さないように注意しながら、架け橋にもなれるように情報を発信していく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

高く評価していただいているお言葉が多くとてもありがたいです。保護者様からの評価を見るとこちらからの情報発信が足りてないことがよくわかりました。細かく丁寧にお伝えしていくことを意識してまいります。訪問先からも概ね満足いただけているという評価がいただけましたが、良い変化が感じられないことや、お伝えしていることがわかりずらかったという評価もあり、訪問の場でそれを言っていただけるような関係性に慣れるようなコミュニケーションが取れると良かったと感じました。積極的にかかわりながら、一緒に考えていけるような訪問支援を目指して、まずは訪問支援員の育成に努めてまいります。

事業所名 発達療育 レンテ

担当者 児童発達支援管理責任者 北原 亜紀